

D-5

PM2.5 デジタル粉じん計 質量濃度変換係数【K値】

PM2.5 デジタル粉じん計とろ過捕集法（LV-250R 型）との併行測定※を埼玉、東京、福岡の3地点で実施し、各地点の大気粉じん中の PM2.5 の質量濃度変換係数（K値）を求めました。今回の測定調査により求められた質量濃度変換係数（K値）は約 0.3×10^{-3} でした。その測定調査内容の概要は下記のとおりです。

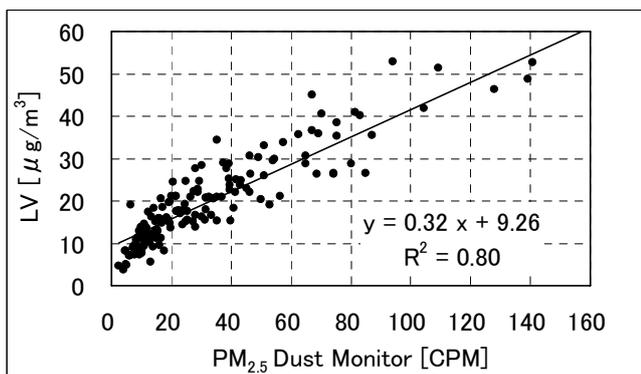
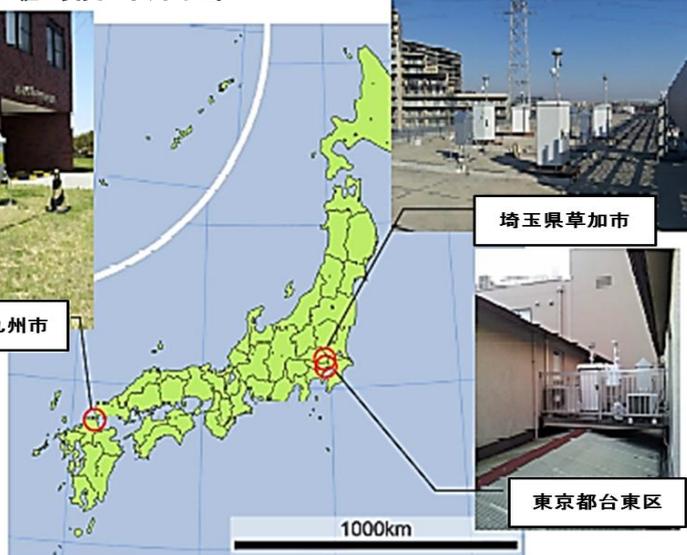
内 容

測定場所：埼玉県草加市、東京都台東区、福岡県北九州市

測定期間：2013年5月7日～2014年4月24日 データ数：N=153

質量濃度変換係数（K値）：約 0.3×10^{-3} ($0.00032 \text{mg}/\text{m}^3/\text{CPM}$)

※当社インフォメーション 2014年1月号に掲載時よりデータ数が増えてK値が変更になりました。



◆質量濃度変換係数（K値）について

質量濃度変換係数（K値）は測定場所や周辺環境によって異なります。正確な測定値を得るためには、測定場所ごとに併行測定を実施し、その場所に合った質量濃度変換係数（K値）を求める必要があります。この測定調査は現在も継続中であり、さらにデータ点数を増し、質量濃度変換係数（K値）の傾向を把握したいと考えています。

※ 産業医科大学との共同研究において併行測定を実施